

## 開催主旨

欧州における社会統合政策はEUの拡大や人の移動の自由化により新たな展開を迎えています。アジアでも、各国で結婚移民やその子どもを対象とした社会統合政策を始めています。どちらの地域でも人の移動はより活発化しましたが、移民排斥や人権問題の摩擦も絶えません。また教育・雇用の問題も深刻です。しかし人道的観点、人口構成の変化、または、経済のグローバル化に対処するため、むしろホスト社会への積極的な受け入れが志向されており、社会統合政策のあり方自体が問われるようになりました。

日本では自治体やNPOが活発な施策を実施していますが、法令が整備されていないという問題があり、このまま適切な社会統合政策なしに移民が放置されれば、社会的コストはますます増大すると懸念されます。

多様な人々が暮らす社会にあって、現在いかなる社会統合政策の理念が求められているのか、また、政府や自治体、非政府組織などの多様な主体が果たすべき役割は何か——世界各地のさまざまな社会統合政策から、どのように「ともに生きていくか」を考えます。

## プログラム

(午前)

10:00-10:15 **開催挨拶** 羽生 次郎(ハニユウ ジロウ) 笹川平和財団会長

### 第1部 多様な展開を見せる社会統合政策—EUにおけるダイナミズム

10:15-11:45 安里 和晃(アサト ワコウ) 京都大学大学院特定准教授、笹川平和財団特別研究員  
「社会統合政策の新たな地平」

Irena Guidikova(イレナ ギディコバ) 欧州評議会文化政策、多様性、対話部長  
「インターカルチュラル・シティ —インターカルチュラルな統合のモデルに向けて」

Jonathan Chaloff(ジョナサン チャロフ) OECD国際移民部政策アナリスト  
「国境を超える雇用と労働市場の統合政策への影響」

モデレーター 小川 全夫(オガワ タケオ) 山口県立大学大学院教授

(質疑応答)

(午後)

## 第2部

### アジアにおける社会統合政策の胎動

13:15-14:45

Lai Ah-Eng(ライ ア・エン) シンガポール大学アジアリサーチ研究所シニアリサーチフェロー  
「シンガポールの多文化主義と社会統合：背景、アプローチと諸問題」

Tseng Yen-Fen(ツェン イェン・フェン) 台湾大学社会学部教授  
「家庭に縛りつけられた外国人女性：  
結婚移民に向けた台湾の社会統合政策の現実と挑戦」

Lee Hye-kyung(イ ヘ・ギョン) 韓国培材大学社会学部教授  
「韓国における社会統合政策」

モデレーター 明石 純一(アカシ ジュンイチ) 筑波大学大学院助教

(質疑応答)

14:45-15:15

Coffee break

## 第3部

### 多様な主体が推進する地域の社会統合

15:15-16:45

Leyla Oezmal(レイラ ウツマル) ドイツ・デュースブルク市統合局長  
「デュースブルク  
ーライン川とルール川の合流地点に位置する世界に開かれた国際港湾都市」

坂井 嘉巳(サカイ ヨシミ) 美濃加茂市市民協働部生涯学習課課長兼中央公民館長  
「美濃加茂市における多文化共生について」

Marco Borsboom(マルコ ボルスブーム) オランダ・アバカボ労働組合連盟政策アドバイザー  
「オランダの医療・福祉分野に従事する国際移民」

モデレーター 田村 太郎(タムラ タロウ) ダイバーシティ研究所代表

(質疑応答)

17:00-17:30

総合討論

司会 安里 和晃

17:30-17:40

閉会挨拶

茶野 順子(チャノ ジュンコ) 笹川平和財団常務理事

18:00-

レセプション

於 日本財団ビル 8階